

こんなことあったよ！レポート

平成 20 年 9 月 27 日 (土)

上町自治会自主防災訓練・防災ワークショップ編



昨年の反省をいかし、今年は少しボリュームアップして広報車が町内を回りました。



避難後の安否確認も年々スムーズになってきています。



2 階テラスではすみれ会の炊き出し準備が着々と進んでいます。



近隣自治会や秋田高専の学生さんの参加などもあり会場は満員でした。



自宅の安全を見直しましょうという田中先生の防災講話

定年退職し、地元能代市へ 40 数年ぶりに舞い戻ってきました。町内は様変わりし、私は新参者と言ったところです。上町自治会から防災訓練への参加の要請があり、3年前から訓練に参加させていただいております。

自治会初会議に出席したところ、防災訓練の主体は県市行政ではなく、自治会独自で企画立案し「上町自治会自主防災訓練」と銘打って実施するとの趣旨説明を受け、少なからず驚いた者の一人です。「防災は行政当局の専売特許」としか頭にない私には。

ところで、上町主体で実施した 4 回にわたる防災訓練の内容はおおよそ次のとおりでした。

- ・平成 17 年 9 月 25 日 避難訓練（広報車・市提供）・防災講話（市消防）
- ・平成 18 年 10 月 1 日 避難訓練、避難食作り（一部市提供）、危険箇所町中探訪（能代警察署）
- ・平成 19 年 11 月 11 日 避難訓練、避難食作り、行政・関係団体からの情報提供報告（能代河川国道事務所・中川原自治会長）
- ・平成 20 年 9 月 27 日 避難訓練、避難食作り、講話（自宅の安全を確認する。富士常葉大学田中准教授）、総評（秋田高専水田准教授）

上町自治会は独居老人世帯、老夫婦世帯を含めて 60 世帯そこそこであるのに、例年の参加者は 40 名に達し、行政その他防災関係者、近隣自治会役員を含めると合計 50 名以上になる。私が受付の任を負ってみて、今年の参加者は例年よりも多く、60 名を優に越え、中には訓練を聞きつけて来たという町外の一般市民の姿も見受けられ、広報活動にも十分に意を尽くしていることが伺われました。

上町の自主防災訓練が年毎に参加者人員が増えた経緯は、自ら企画立案し実践継続に当たり、行政その他関係機関に懸命に働きかけた自治会長を始めとする役員、婦人会皆々様の努力の賜物で頭が下がります。

最後に「災いは忘れた頃にやってくる」この例えからも自主防災訓練の継続は必要不可欠です。ただ危惧することは、以後の活動が大風呂敷になり過ぎ、このユニークな活動が頓挫することです。このことを心配するのは私一人でしょうか。上町自治会員の实態を良く把握し、息の長い自治会主体の防災活動にしていだければと思います。

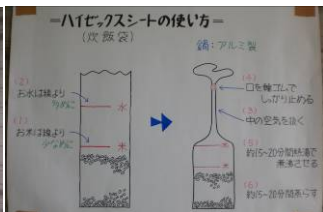
文：佐々木雄司



田中先生の指導で、賢い被災者として自らが自宅の被害が説明できるように、また日頃から自宅のことを知っておくために、自宅を思い出しながら平面図と立面図を書きました。実際と合っているか、分からないところは確認したか、この場限りで終わらないことが大切です。



こんな楽しい防災活動は初体験。長く続けてほしいという水田先生の総評でした。是非また学生さんたちとおいでください。



すみれ会のこれまでのノウハウが詰まった図を使って作り方を説明します。



すみれ会会員に教えてもらいながら先生や学生さんもチャレンジ！口を縛って鍋に入れて暫く待たばできあがり。3年目ともなると、ご飯のバリエーションも増えました。みんなで食べるご飯は美味しかったですね。

■ プログラム

- ・ブロックごとの避難訓練
- ・開会挨拶：上町自治会 能登祐子さん
- ・趣旨説明：秋田県立大学木材高度加工研究所 渡辺千明さん
- ・昼食準備：上町すみれ会 村上幸美さん&会員
ハイゼックスシートによる避難食づくり・味噌汁炊きだし
- ・防災講話：富士常葉大学 田中聡さん
「わがやの安心・安全」
自宅の図面を書いてみよう！
- ・昼食
- ・総評：秋田工業高等専門学校 水田敏彦さん
- ・閉会挨拶：能代市総務部 三杉祐造さん

■ 参加関係者（○印はネットワークメンバー）

- 上町すみれ会
- ・上町自治会
- 能代市市民活力推進課・危機管理室
- ・富士常葉大学
- ・秋田高等工業専門学校
- 秋田県立大学木材高度加工研究所
- 国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所
- 秋田県山本地域振興局
- ・(社)日本建築学会・同災害委員会
- ・北羽新報社・秋田魁新報社

す みれ会は、上町自主防災訓練で炊き出し

を担当しました。3年前の訓練で電気・ガス・水道といったライフラインが使えなくなった時の炊き出し方法として、ハイゼックスシート（炊飯袋）を木高研の渡辺千明先生より紹介いただき、今年もこれを使って避難食を作り、食べてみようという訓練を行いました。

初めて参加された方は「こんなビニール袋で本当にご飯が炊けるの…？それも味付けご飯まで！」といった感じで、いざ食べてみると「ん～おいしー！」とか「避難食じゃないみたい！！」といった声が聞かれました。

各 家々にある食材持込の具沢山味噌汁と

炊きたてご飯は、訓練当日の雨模様で肌寒い日にはとってもグーなメニューとなりました。炊き出しも毎年行うことにより新たなアイデアが加わり、手際よくできるようにもなり、継続して行う訓練の大切さを実感した一日でした。

文：村上幸美

